



2019年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2018年11月14日

上場会社名 チタン工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 4098 URL <http://www.titankogyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 渡邊 一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 中村 茂

TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日 2018年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	3,763	21.7	246		236		217	
2018年3月期第2四半期	3,090	7.0	44		62		72	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	72.43	
2018年3月期第2四半期	23.94	

*2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株とする株式併合を実施したため、前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	11,394	5,599	49.1
2018年3月期	10,698	5,431	50.8

(参考)自己資本 2019年3月期第2四半期 5,599百万円 2018年3月期 5,431百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期		0.00		20.00	20.00
2019年3月期		0.00			
2019年3月期(予想)				20.00	20.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,800	19.3	510	580.8	490	639.7	440	189.6	146.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期2Q	3,027,626 株	2018年3月期	3,027,626 株
期末自己株式数	2019年3月期2Q	19,660 株	2018年3月期	19,523 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期2Q	3,008,037 株	2018年3月期2Q	3,008,749 株

*2017年10月1日を効力発生日として、普通株式10株を1株とする株式併合を実施しております。前事業年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想等の将来に関する記述につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しています。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、米中貿易摩擦の深刻化などの先行き不透明な状況はありましたが、政府による経済政策や日本銀行の金融緩和策及び海外経済の着実な成長を背景に、緩やかな回復が続きました。

このような情勢のもとで、当社は、3カ年の第5次中期経営計画（2019年3月期～2021年3月期）に基づき、当社の強みが生かせ、かつ、成長が見込める事業については、設備投資や研究開発投資など経営資源の集中化を推し進め、一方、収益性が低い事業については、その将来性等に検討を加え、販売の大幅縮小やコスト構造の抜本的改革に取り組むなど、会社全体の収益力を強化するとともに新たな基盤作りを推進してまいりました。

その結果、酸化チタン機能製品及び酸化鉄の出荷数量が大幅に増加いたしましたので、当第2四半期累計期間の売上高は、前年同期を大幅に上回る3,763百万円（前年同期比21.7%増）となりました。

一方、損益面につきましては、原材料価格の高騰はありましたものの、売上高の大幅な増加及び設備稼働率の上昇などにより、営業利益は246百万円（前年同期は営業損失44百万円）、経常利益は236百万円（前年同期は経常損失62百万円）、四半期純利益は217百万円（前年同期は四半期純損失72百万円）となりました。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントの名称を、従来の「酸化チタン」及び「酸化鉄」から、それぞれ「酸化チタン関連事業」及び「酸化鉄関連事業」へ変更しております。当該変更は、名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

(酸化チタン関連事業)

酸化チタンにつきましては、輸出の増加などにより、出荷数量が増加いたしました。酸化チタン機能製品につきましては、UVカット化粧品向け新製品の採用及び自動車搭載用電池向け製品が好調に推移したことなどにより、出荷数量が大幅に増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は2,691百万円（前年同期比28.8%増）となり、原材料価格の高騰はありましたものの、売上高の大幅な増加及び設備稼働率の上昇などにより、営業利益は212百万円（前年同期は営業損失41百万円）となりました。

(酸化鉄関連事業)

酸化鉄につきましては、化粧品向け新製品が好調に推移いたしましたので、出荷数量が増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,050百万円（前年同期比7.6%増）となり、原材料価格の高騰はありましたものの、売上高の増加及び設備稼働率の上昇などにより、営業利益は28百万円（前年同期は営業損失13百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、現金及び預金などの減少があったものの、受取手形及び売掛金、商品及び製品、原材料及び貯蔵品などの増加から、当第2四半期会計期間末11,394百万円と前事業年度末に比べて696百万円増加いたしました。

負債につきましては、未払法人税等、長期借入金などの減少があったものの、短期借入金、1年内返済予定の長期借入金などの増加から、当第2四半期会計期間末5,795百万円と前事業年度末に比べて528百万円増加いたしました。

純資産につきましては、四半期純利益の計上による利益剰余金などの増加から、当第2四半期会計期間末5,599百万円と前事業年度末に比べて167百万円増加いたしました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間におきましては、税引前四半期純利益、減価償却費、仕入債務の増加、短期借入れによる収入、長期借入れによる収入などの資金増がありましたものの、売上債権の増加、たな卸資産の増加、長期借入金の返済による支出などの資金減によりまして、前事業年度末に比べて229百万円減少（前年同四半期累計期間は267百万円増加）しており、資金の残高は718百万円となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期の実績及び今後の見通しを勘案し、予想数値を修正しております。詳細は本日（2018年11月14日）公表の「2019年3月期第2四半期累計期間業績予想数値と実績値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の見通しにつきましては、売上高は7,800百万円、営業利益は510百万円、経常利益は490百万円、当期純利益は440百万円を見込んでおります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	949	718
受取手形及び売掛金	1,635	1,760
商品及び製品	1,427	1,538
仕掛品	746	841
原材料及び貯蔵品	334	796
その他	33	22
流動資産合計	5,126	5,678
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,519	1,482
機械及び装置(純額)	2,505	2,487
その他(純額)	643	831
有形固定資産合計	4,668	4,802
無形固定資産	3	2
投資その他の資産		
その他	910	923
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	899	911
固定資産合計	5,571	5,716
資産合計	10,698	11,394
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	774	855
短期借入金	1,000	1,100
1年内返済予定の長期借入金	489	629
未払法人税等	81	29
賞与引当金	109	114
事業構造改善引当金	99	99
その他	570	942
流動負債合計	3,124	3,769
固定負債		
長期借入金	1,437	1,340
退職給付引当金	635	617
資産除去債務	3	3
その他	65	63
固定負債合計	2,141	2,025
負債合計	5,266	5,795

(単位:百万円)

	前事業年度 (2018年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2018年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	1,479	1,637
自己株式	△38	△39
株主資本合計	5,176	5,333
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	254	265
評価・換算差額等合計	254	265
純資産合計	5,431	5,599
負債純資産合計	10,698	11,394

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	3,090	3,763
売上原価	2,621	2,971
売上総利益	469	791
販売費及び一般管理費	514	545
営業利益又は営業損失(△)	△44	246
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	5
その他	6	9
営業外収益合計	16	14
営業外費用		
支払利息	21	18
その他	12	6
営業外費用合計	34	24
経常利益又は経常損失(△)	△62	236
特別損失		
固定資産除却損	7	5
特別損失合計	7	5
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△70	231
法人税、住民税及び事業税	1	15
法人税等調整額	—	△1
法人税等合計	1	13
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△72	217

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△70	231
減価償却費	326	270
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5	4
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△32	△17
受取利息及び受取配当金	△10	△5
支払利息	21	18
その他の営業外損益 (△は益)	5	4
有形固定資産除却損	7	5
売上債権の増減額 (△は増加)	280	△124
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△233	△669
仕入債務の増減額 (△は減少)	355	151
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△41	△55
その他	9	7
小計	625	△177
利息及び配当金の受取額	10	5
利息の支払額	△11	△18
法人税等の支払額	△1	△60
その他	△2	△4
営業活動によるキャッシュ・フロー	619	△255
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1	—
定期預金の払戻による収入	1	1
有形固定資産の取得による支出	△188	△45
投資有価証券の取得による支出	△0	△0
投資有価証券の売却による収入	—	0
貸付金の回収による収入	0	—
その他の支出	△0	△0
その他の収入	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△188	△44
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	50	100
長期借入れによる収入	—	300
長期借入金の返済による支出	△143	△257
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△60	△60
その他の支出	△11	△11
財務活動によるキャッシュ・フロー	△165	70
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	267	△229
現金及び現金同等物の期首残高	324	948
現金及び現金同等物の四半期末残高	591	718

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益計算書 計上額(注2)
	酸化チタン 関連事業	酸化鉄 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,089	975	3,065	25	3,090	—	3,090
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,089	975	3,065	25	3,090	—	3,090
セグメント利益又は損失(△) (営業損失(△))	△41	△13	△54	9	△44	—	△44

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期損益計算書 計上額(注2)
	酸化チタン 関連事業	酸化鉄 関連事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	2,691	1,050	3,741	21	3,763	—	3,763
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,691	1,050	3,741	21	3,763	—	3,763
セグメント利益(営業利益)	212	28	240	6	246	—	246

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

以上